

議会だより

全町から遊佐小学校に



3月定例会

令和5年度 予算審査 P. 2
令和4年度補正予算 P. 6
町の事業と課題を問う（一般質問） P. 8
付帯決議（当初予算） P.12

議案内容と採決の結果 P.13
行政視察 P.14
シリーズ遊佐人^⑬（遊佐保育園） P.15
議会クイズ・編集室より P.16

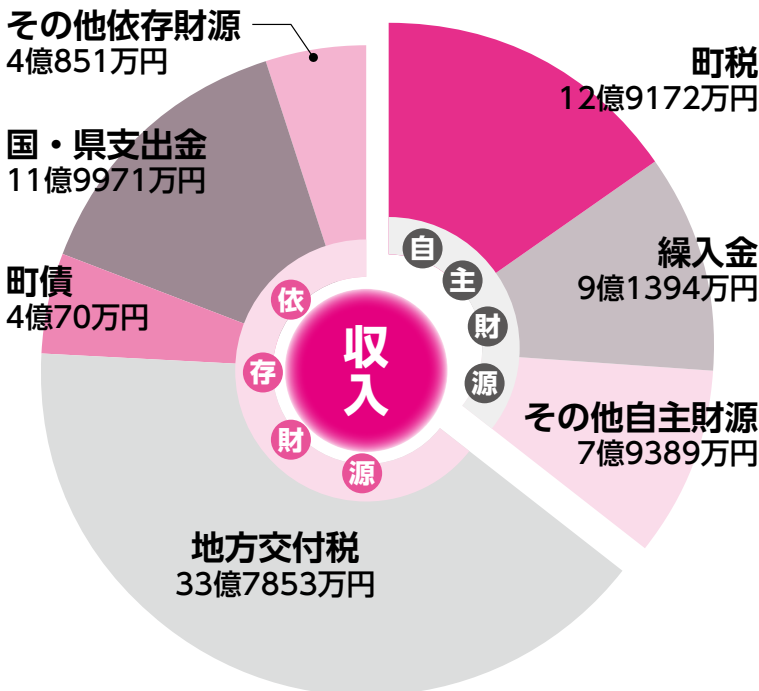
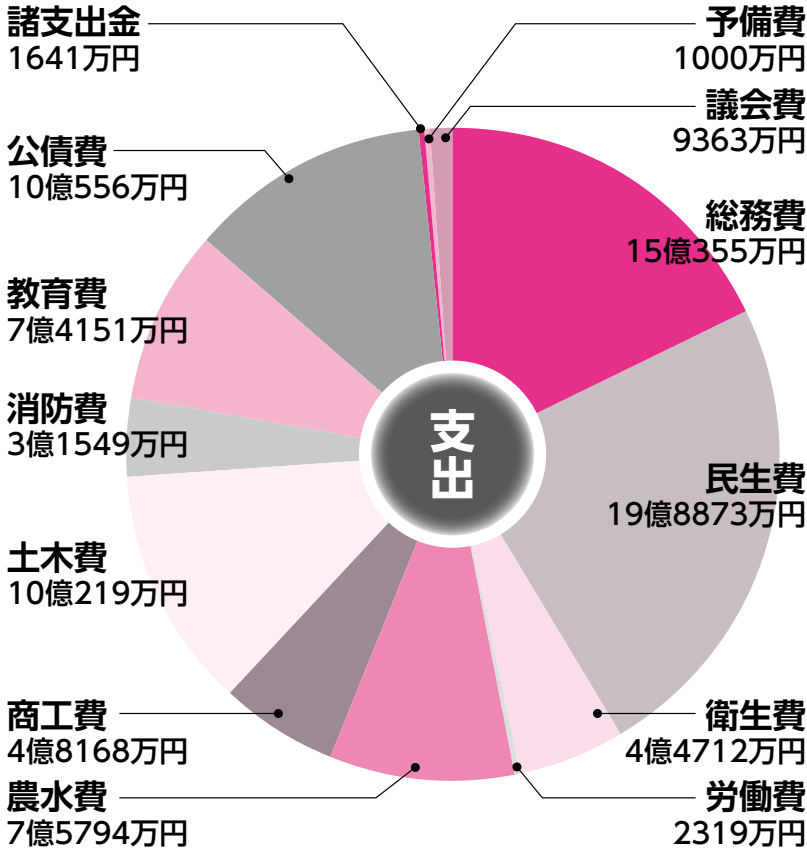
一般会計総額 83億8700万円

前年度比 7100万円減

令和5年度
予算審査

若者を中心としたビジネス創出で アフターコロナの産業活力を

長引くコロナ禍の影響から脱却すべく、「新・道の駅」の運営体制を整備。
ブランド推進協議会に代わる若者のビジネス創出に向けた取り組みが始まる。
また、出産・子育て支援や、学校給食費高騰対策など、子育て世代への
支援を強化する。



令和5年度

当初予算質疑



3月15日
16日

予算審査特別委員会
委員長
那須 正幸
副委員長
菅原 和幸

主な予算項目の説明

総務費	人件費や徴税、選挙費用
民生費	福祉、医療、保育園運営費
衛生費	環境衛生、ごみ処理の費用
農水費	農林水産業の費用
商工費	商工業や観光振興費用
土木費	道路、橋梁の整備補修や、除雪費用
消防費	常備消防や消防団費用
公債費	借入金の返済
議会費	議会運営費、議員報酬

予算審査

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

当初予算ポイント

新規事業として、若者を中心としたビジネス創出事業に1310万円、出産・子育て応援交付金502万円、学校給食費高騰対策負担金215万円を計上している。
その他特徴的な事業は、「新・道の駅」整備に1億7172万円、橋梁長寿命化修繕事業で1億7228万円を計上している。

総務課

電気自動車用 充電施設は

問 どの場所に、どれ位の出力を有する充電器を設置するのか。
(佐藤俊太郎 委員)

答 国の補助金を活用し、新庁舎の駐車場西側角に、50kwの急速充電可能なものを予定している。



EV充電器

少々高額に感じるが

問 公用車購入費で400万円の計上だが、その内容は。
(本間知広 委員)

答 長距離移動には不安

もあるが、カーボンニュートラルの視点から、電気自動車を購入予定である。

消防団「協力金」 実態は

問 消防団「協力金」は法的に疑義があり集落会計も圧迫する。実態は。
(齋藤 武 委員)

答 各集落の状況は把握していない。消防団(員)が金品をもらうことは消防団条例に抵触する可能性があり、幹部会議でも注意喚起している。

消火ホース 費用分担は

問 消火栓ホースの整備費用。町と地元集落の負担割合は。
(齋藤 武 委員)

答 費用は町が3分の2、上限20万円を補助している。

避難所機材 何を整備

問 避難所機材は常に整備する必要がある。5年度の計画は。
(齋藤 武 委員)

答 室内テント、段ボールベッドなどを予定している。



避難所機材に小学校食器も活用

佐藤政養資料調査

問 佐藤政養資料調査事業負担金の状況は。
(佐藤光保 委員)

答 顕彰会で実施した事業に対し負担金を支払うこととなる。

基金の状況

問 生活に直結する上下水道会計の安定のために基金を積立てるべきでは。
(赤塚英一 委員)

答 現時点では基金積み立ては考えていない。

空家解体撤去補助金

問 空家解体撤去補助金の申請状況は。
(佐藤光保 委員)

答 3年度から非課税要件をなくし、申請が増え4年度は3件である。

地域生活課

動物愛護に富む町づくり

問 野良猫対策も進みつつある。5年度も不妊・去勢手術費は継続計上か。
(松永裕美 委員)

答 4年度は申請が多く補正予算で対応した。5年度は増額して予算計上し、引き続き支援する。

「山形県水道広域化推進プラン」への対応は

問 第2次水道ビジョンでは、7年度から広域連携を推進するとのあるが。
(菅原和幸 委員)

答 庄内圏域で進められている事業統合には参加しないが、これまで同様、広域連携の検討は継続していく。

洋上風力建設は慎重に

問 再生可能エネルギーは理解するが、町民に不利益にならない町の姿勢

猫飼育のイマドキご存じですか?
(山形県HPより)

を望む。

(阿部満吉 委員)

答 今後も継続して開催される国の法定協議会に、町民の不安や心配の声をきちんと届け、しっかりと議論していく。

町営住宅

長寿化対策は

問 築48年になるが入居者の快適な生活を担保する対策は。
(高橋冠治 委員)

答 長寿命化計画に基づき、5年度から水道受水槽の更新に着手する他、屋上部分の修繕等を計画している。

合併浄化槽設置補助金

問 合併浄化槽の設置率は43・3%と低いが、向上させる対策が必要である。
(斎藤弥志夫 委員)

答 広報等での周知の他、戸別訪問等を行っている。設置に向けて、工夫して取り組んでいく。

再生可能エネルギー補助金

問 再生可能エネルギーの家庭用蓄電池購入に町の補助金が必要では。
(斎藤弥志夫 委員)

答 現行の補助金制度のメニューに加えるかを、県の補助制度と連携しながら検討していきたい。

健康福祉課

保育園の給食材料費

問 材料は地場産か。諸物価高騰の現況下で予算に不安はないか。
(佐藤俊太郎 委員)

答 材料は出来るだけ、地元の店から購入。予算は、余裕をもって計上している。

町民課

証明書等がコンビニでも

問 新たに始まる行政サービスにどれほどの需要を見込んでいるのか。
(本間知広 委員)

答 住民票・印鑑証明書の代理交付件数は年間約1200件。その分がコンビニ交付へ移行すると見込んでいる。

教育課

いじめ対策 さらに注力を

問 小学校統合に向けて、いじめ対策にさらに力を入れるべきでは。
(松永裕美 委員)

答 アンケートや個別面談から早期発見の手掛かりにするなど、継続的にチームで対応し、生活実態のきめ細かな把握に務める。

統合小学校教員の拡充を

問 統合も機に、いじめ問題含めて、指導できる教員の考えうる限りの拡充を望む。
(阿部満吉 委員)

答 スクールカウンセラーや教育支援員を配置することで、相談しやすく、いじめのない学校づくりを目指す。

学校ICT支援 効率的に

問 タブレットなどICT機器の教職員への技術伝達に効率的な方法があるのでは。
(斎藤弥志夫 委員)

答 ICT支援員から、授業・校務支援、環境整備、研修等の業務を担ってもらい、教員の技術向上を効果的に進めていく。

問 中学校施設改良事業 緊急性高いのか
計画と比較し、480%増の約2300万円である。事業内容は。
(菅原和幸 委員)

答 武道場の雨漏りにより内装への被害も懸念される。改修の緊急性が高いため、図書室LED化工事に加え実施する。

産業課

地方創生の 新たな事業として

問 地方創生の取り組みは、国から認定を受ける必要があるが、終えているのか。

(菅原和幸 委員)

答 4年11月11日付で、「遊佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」として、国(内閣府)の認定を受けている。

アワビ養殖事業の 展望は

問 販売収入を30万円見込んでいるが経費が1200万円を越す。見直す時期では。

(高橋冠治 委員)

答 養殖を民間委託し、体制整備を行い、継続する。特産品開発並びに販売は総合交流促進施設株式会社が行う。

岩ガキの復活を 目指して

問 岩ガキを捕るだけでなく育て増やす施策の視点が必要。

(阿部満吉 委員)

答 「遊佐鳥海岩がき安心協議会」による岩盤清掃や県事業の藻場整備など、生息しやすい環境整備を行う。



天然岩ガキ

駅舎協議会交付金は 定額に

問 わかりやすく基礎的な交付金と事業費・工事費等は別途予算で

(高橋冠治 委員)

答 ゆざつとプラザ協議会が実施する、ゆざ元町賑わい再生事業が柔軟に展開できるように、支援する。

若者ビジネス創出の核は

問 若者から強い要望があるインターンシップ制度を町は推進すべき。

(高橋冠治 委員)

答 高校生や大学生といった若者のインターンシップ制度の構築と推進を目指す。

企画課

5年度末の 「新・道の駅」は

問 「新・道の駅」の進捗状況は。

(本間知広 委員)

答 公募により「新・道の駅」を運営する指定管理候補者を決定し、建物基本設計に着手している想定である。

高速道路と住宅政策

問 利便性の高い高速道路周辺には住宅整備等の構想はないのか

(赤塚英一 委員)

答 具体的な構想はないが、本町を移住・定住先として選んでもらうため、「新・道の駅」と連携した住宅政策は必要と考える。

広報紙への広告掲載は

問 掲載する際の条件及び掲載料金はどのようになっているのか。

(佐藤俊太郎 委員)

答 遊佐町にある事業所や活動が明らか団体とし、掲載場所や大きさ、年間契約等で料金が設定されている。

空き家をどう使う

問 空き家利活用の状況は。

(佐藤光保 委員)

答 空き家をリフォームし移住体験施設として活用する、「空き家活用多機能型住宅」を新たに1棟整備予定。

外国人技能実習生の 支援は

問 国際交流事業には在町外国人への支援等も含まれていると思うが

(赤塚英一 委員)

答 基本的には受け入れを行う事業所が対応を行っているが、日本語講座の開催などにより支援している。



お試し体験住宅 (広野)

令和4年度

補正予算質疑

3月7日

ウイズコロナ見据え 新年度にそなえる



補正予算審査特別委員会
委員長 齋藤 武
副委員長 本間 知広

4年度事業の確定により、不用となった予算を減額。5年度事業に向け基金の積み立てや、緊急性の高い圃場整備事業、子どものための保育給付事業、コロナ対策観光事業所支援等に新たな予算を計上した。

補正予算ポイント

農林基金 当山、杉沢、大楯、畑圃場整備事業 1286万円
ふるさと基金積立金…………… 1億7000万円

観光 コロナ対策観光施設支援給付金 1778万円
森林環境譲与税活用基金積立金…………… 1000万円

予算審査

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

総務課

オークションの活用は

問 更新となった小型動力ポンプ車を出品してはいかがか。
(佐藤俊太郎 委員)

答 消防本部の実績でも思ったほど売り払い価格が高くない、事務負担も大きいことから現在は考えていない。

ふるさと基金の状況は

問 ふるさと基金の状況と今後の使用目的や施策の予定は。
(赤塚英一 委員)

答 ふるさと納税から経費を引いた分を積み立て翌年度に使っている。使道は、観光振興や教育分野など納税者の希望により配分している。

光ケーブルの強化を

問 ネット環境を快適にするためには伝送路の強化が必要では。
(赤塚英一 委員)

答 町内の一部では町が整備した光ケーブルを使用している。通信技術の進歩もあるので、今後は事業者が整備していくべきと考える。

企画課

測量調査委託料なぜ減額に

問 「新・道の駅」に関する委託料が4100万円も減額になった理由は。
(本間知広 委員)

答 事業手法の決定に伴いスケジュールを見直し、建築基本設計を5年度に実施することとしたため減額となった。

新築支援金なぜ残ったのか

問 舞鶴地区の賃貸住宅新築支援金が1600万円残った理由は。
(本間知広 委員)

答 資材高騰等の影響により、町が求める家賃・仕様での整備が困難となり、事業者の決定まで至



舞鶴地内のまちなみ

あぼん西浜の浴槽修理

問 老朽化による故障に対する、点検対応マニュアル等はあるか。
(佐藤俊太郎 委員)

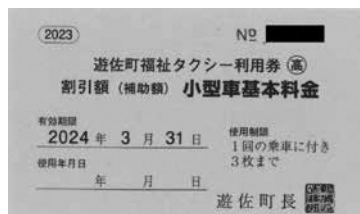
答 指定管理者が、「施設・設備修繕マニュアル」により、老朽化等による故障の対応を行っている。

健康福祉課

福祉タクシー券追加予定は

問 助成券を使い切った方に、追加配布の予定はあるか。
(佐藤俊太郎 委員)

答 5年度から、現在の12枚を16枚に増やす検討をしている。



タクシー券

人工透析患者の送迎は

問 人工透析患者送迎業務委託料の減額内容は。
(佐藤光保 委員)

答 当初、業者への委託を予定していたが、4月から2月まで運転手を雇ってきたため、減額補正となっている。

産業課

中山間直接支払減額とは

中山間地域直接支払事業費が減額された理由は。(那須正幸 委員)

耕作者からの要望に対応できるように、過去の交付対象面積を基に予算計上しており、不用額が生じた。

農業補助金 不用額が多過ぎないか

補助申請予定者と事前に、事業内容などの調整は行わないのか。(菅原和幸 委員)

農業者への周知は、関係機関と協力体制をとっている。農業者の要望に応えるため予算を確保している。

農業後継者育成 新たな基準を

経営継承・新規就農支援金の減額。農地を太

陽光発電所にするな。

(阿部満吉 委員)

担い手の高齢化がいつそう進行するなか、国の動向を注視しながら、関係機関と連携して担い手確保に努める。

みどり環境税 計画的に山の手入れ

広範囲な森林伐採は里山に負荷がかかる。計画性を持った見守りを。

(阿部満吉 委員)

松くい虫防除・公益の森100年計画事業など、県からの補助金を有効活用し計画的な里山整備を行う。

農産業次世代人材投資

次世代人材投資のマイナス補正はいかにして発生したのか。(齋藤弥志夫 委員)

交付対象者4名のうち、1名が離農したこと等から、不用額が生じたため減額補正した。

ふるさと納税の 返礼品は

返礼品は町としては遊佐町特産品にこだわっているのか。(高橋冠治 委員)

返礼品登録は総務省の基準に則って決定する。遊佐町に關係のある品を登録し、国にも報告している。



ふるさと納税返礼品

教育課

新小学校の 駐車台数確保は

学校行事の際、駐車場不足から収容しきれないことも考えられる。その場合の駐車場はどこか。(高橋冠治 委員)

(那須正幸 委員)

運動会・学習発表会の際は、役場駐車場等の使用も想定している。



新設された小学校駐車場

地域と一緒の子育てを

子育てフォーラムが開催できていない。これからの予定は。(那須正幸 委員)

小学校閉校事業や県

内会場のPTA全国大会等で開催を断念した。5年度のPTA新体制で改めて方向性を決定する。

大震災から12年

被災児童生徒に対する就学援助が、2力年連続で皆減となる背景は。(菅原和幸 委員)

対象予定者に給食費・学用品等の支援額を計上していたが、認定基準に満たなかったため、該当者なしとなった。

小山崎遺跡コンサル 業務どのように

コンサル業務で文化財の保管場所をどのように検討するのか。(齋藤弥志夫 委員)

史跡小山崎遺跡の整備基本計画を5年度までの2カ年で策定。文化財の保管場所も含め、その方向性を検討していく。

地域生活課

水害予防組合解散後の 河川内除草の現状は

予算額の減額補正である。5年度も、4年度最終額事業費ほどを予定か。(菅原和幸 委員)

河川内除草は従前どおり実施しており、事業費確定により減額したものの、今後同じ区域で実施していく。



県による支障木撤去で除草しやすくなった洗沢川

予算審査

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるためにを行います。

*各議員の一般質問録画映像はQRコードからアクセスしてください。

町の事業と課題を問う

11議員登壇

3月8日・9日

一般質問

予算審査

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

一般質問通告の要旨(通告順)

- 菅原 和幸議員
- 〇ゼロカーボンに向け「見える化」の結果は
松永 裕美議員
- 〇高齢者運転講習料 町の助成は
那須 正幸議員
- 〇小学校統合 地域行事どう変わる
佐藤 光保議員
- 〇自衛隊の住基閲覧は
斎藤 弥志夫議員
- 〇農業人口の減少にどう対応
阿部 満吉議員
- 〇相続登記義務化目前 町の対応は
高橋 冠治議員
- 〇急がれる社会福祉協議会 移転先は
本間 知広議員
- 〇「ふるさと納税」今後の展望は
赤塚 英一議員
- 〇人口減少への対策と目指す将来像は
齋藤 武議員
- 〇水循環保全 本気で取り組むのか
佐藤 俊太郎議員
- 〇「いきいき百歳体操」より充実を

ゼロカーボンに向け「見える化」の結果は



農地での営農型太陽光発電施設(藤崎地内)

問 水田から発生するメタンガスをはじめとする農業分野の温室効果ガスの排出と、二酸化炭素を吸収する森林面積などを町が独自に調査した。
その結果と開示の仕方は。できるだけ早く公表したい

答 町内で排出される温室効果ガスで最も多いのは運輸部門、次いで家庭からで、農業部門からの排出も課題である。最終報告は5年3月末の予定で、結果は早めに公表する。



すがわら かずゆき
菅原 和幸
議員



質問者の動画が見られます。

高齢者運転講習料 町の助成は



重要な交通安全研修会

問 町は高齢者運転講習料を補助するののか。 予定はない 免許返納を推奨

答 法令に基づく講習には補助の予定はない。町では、免許返納を推奨している。運転の不安を取り除くのではなく、車のない生活の不安を取り除くことを目指したい。買い物難民などを生まないよう、高齢者の生活支援を行っていく。



まつなが ゆみ
松永 裕美
議員



質問者の動画が見られます。



小学校統合 地域行事どう変わる



子ども樽みこし (吹浦まつり協賛会より)

問 地域担当職員を配置
答 新しく地域連携担当職員を配置し、コミュニケーションスクールを核に四大祭行事やPTA・児童への周知、その他地域行事との連携を図っていく。

問 地域で行われてきた児童参加の行事、住民運動会や祭り、ボランティア行事への参加などこれまで各小学校との連携で行われてきた。
まち協以外の行事も多くある中、PTAや子どもたちへの周知をはじめ学校との連絡となる対応窓口はどこになるのか。



なす まさゆき
那須 正幸
議員



質問者の動画が見られます。

予算審査

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

自衛隊の住基閲覧は



町民課閲覧窓口

問 隊員募集のため閲覧
答 毎年度「自衛隊員募集に係る事務」を目的とし、17歳及び21歳を対象に閲覧している。
2年度99名、3年度168名、4年度194名が該当した。

問 自衛隊職員による住民基本台帳の閲覧件数状況は。



さとう みつやす
佐藤 光保
議員



質問者の動画が見られます。

農業人口の減少にどう対応



南西部カントリー (庄泉地内)

問 担い手を確保し、経営支援
答 国・県の関連事業及び町のチャレンジファーム事業等を活用して人材の一層の呼び込みを図り、経営資金の確保の支援をして将来を見据えた地域計画策定等を進める。

問 稲作にかかる時間が減って、農家は人手を多く必要としない。離農者が増え、稲作を中心とする町では抜本的な対策が必要である。農地の確保、機械と肥料の高騰など新規参入者にはハードルが高い。県内の農業産出額のうちコメは30%で、落ち込みが大きく苦戦している。状況の改善は可能か。



さいとう やしお
斎藤 弥志夫
議員



質問者の動画が見られます。



相続登記義務化目前 町の対応は



こうなる前に対応を

**危険家屋
解体支援事業で対応**
Ⓜ 危険空き家解体支援相談と共に、固定資産課税通知と一緒に、登記の義務化を伝えることになっている。

問 若者定住策として住居の新築やアパート建設に支援してきたが、空き家の利用が進まない。危険空き家も増え、周辺環境悪化への対応策は。
6年には相続登記が義務化される。相談窓口の開設も必要と考えるが、該当者への周知は。



あべ みつよし
阿部 満吉
議員



質問者の動画が見られます。

予算審査

補正予算審査

急がれる社会福祉協議会 移転先は



現在の社会福祉協議会施設

要望書が出てから検討
Ⓜ 社会福祉協議会内部で施設整備検討委員会を開催し施設の規模や移転先をまとめていると聞いている。要望書を見て検討したい。

問 空き校舎活用を目的に、藤崎小学校を念頭に進められていた社会福祉協議会の移転は内部協議がなされていないと白紙となった。トレーニングセンターを解体し新たに社会福祉協議会の建物を建設するとの話があるが、施設を作るとは町の財政に大きな負担となるのでは。



たかはし かんじ
高橋 冠治
議員



質問者の動画が見られます。

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

「ふるさと納税」今後の展望は



地域おこし協力隊員が開発した返礼品

問 地域の特性を生かした返礼品として、鮭のジャーキーの試作に取り組んでいる。
今後はふらつと等運営する総合交流促進施設株式会社が主体となり遊佐ブランドを推進し、特産品の開発等を支援する。

問 4年度予算に4億5千万円を計上するまでに増えたふるさと納税。寄附金の使途は多岐にわたっており、重要な財源となっている。新たな返礼品の開発など、具体的な今後の展望は。
寄附金増額のため、返礼品開発を行う



ほんま ともひろ
本間 知広
議員



質問者の動画が見られます。



人口減少への対策と目指す将来像は



あかつか えいいち
赤塚 英一
議員



質問者の動画が見られます。

問 若い世代の流出を抑え、住んでもらえるため、移住希望者の認識の分析が必要と考える。またインターン制度などを創設し、移住先としての選択肢になる制度が必要と考えるが、人口減少対策と目指す町の将来像は。

答 要因は、少子化、若者や子育て世代の流出、就労や住宅確保の問題等多岐にわたる。持続可能な地域社会実現のため、関係団体と連携し行政各分野横断的な施策に取り組む。

高校卒業後に就学等で町を離れても、若者が町と関わり合いを持てるよう、制度化の検討を進めたい。



限界集落にならないように

予算審査

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

水循環保全 本気で取り組むのか



さいとう たけし
齋藤 武
議員



質問者の動画が見られます。

問 4年12月「鳥海山湧水フォーラムin遊佐」が開催された。臂曲地区採石裁判の経過とともに示されたこれからの課題に、どう向き合うのか。

答 湧水保全の施策を推進する

裁判の決着により節目を迎えたが、新たな採石計画の可能性や採石場の災害防止対策や緑化も課題と考えている。

条例や水循環保全計画の見直し、科学的調査の継続・蓄積、学習機会の創出を関係機関と連携し推進する。



関心を持ち続けることが大切(臂曲採石場)

「いきいき百歳体操」より充実を



さとうしゅんたろう
佐藤俊太郎
議員



質問者の動画が見られます。

問 いきいき百歳体操の実施状況は。参加者増のため、健康マイレージポイントの増加変更やローリングストックの非常食を提供できないものか。

答 続けるために引き続き支援

週1回以上実施中の集落は34か所、351人となっている。コロナ禍で休止もあるが、健康増進事業に参加を促し、現行ポイントで支援をしていきたい。非常食は防災訓練等で提供しているが、50食単位の調理が多く、少人数には提供しづらい。



いきいき百歳体操



アワビ養殖 期限と目標明確に 一般会計予算付帯決議可決

厳しい収支バランス

アワビ陸上養殖実証事業が、吹浦の漁村センターで平成27年度から行われています。5年度一般会計予算にも引き続きこの経費が計上されました。稚貝代、飼料代、光熱水費、作業委託料などで約1284万円の事業費とし、一方で養殖アワビの販売収入は30万円を見込んでいます。依然として厳しい収支バランスです。

町の財政状況に余裕があるとは言えない状況です。そのため、この事業はこのまま継続させるのではなく、一定の期限や成果目標を設けるべきと考えられます。そこで、「付帯決議」としてその旨を議会の意思として町に示しました。

付帯決議（要旨）

1. 町民の理解が得られるような事業の期限と、成果目標を明確にすること。
2. 町民目線で事業の今後の在り方を明確にし、必要な措置を講ずること。

割れた意見

この付帯決議の採決に際しては、意見が大きく分かれました。

反対討論として「アワビの事業を狙い撃ちするもので、新しい産業の機運を委縮させかねない。岩ガキの陸上養殖の道を閉ざすな」「職員が日々どう取り組んでいるか考えるべき。あきらめないことが大事」などの指摘がされました。一方、賛成討論としては「税金の使い方の問題」との発言がありました。採決の結果、賛成6人、反対5人で可決しています。

「付帯決議」とは…議案そのものには賛成だが、何らかの意見を表明したい場合に「付帯」してする決議。法的拘束力はない。

賛否が分かれた議案 ○賛成 ×反対 議長(土門治明)は採決に加わらない

3月定例会

上程議案	本間 知広	那須 正幸	佐藤 俊太郎	佐藤 光保	齋藤 武	松永 裕美	菅原 和幸	赤塚 英一	阿部 満吉	高橋 冠治	斎藤 弥志夫	土門 治明	議決結果 (賛成:反対)
議 34号 遊佐町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—	可決 (10:1)
議 37号 令和4年度一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	—	可決 (9:2)
発議1号 議第7号 令和5年度遊佐町一般会計予算に対する付帯決議について	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	—	可決 (6:5)

1月臨時会【1月23日】の議案内容 (補正予算1件)

議案番号	議案名	内容
議 1号	令和4年度遊佐町一般会計補正予算(第8号)	出産・子育て応援事業とPayPay20%還元事業に総額5100万円増額

〈傍聴者 0人〉

3月定例会の議案内容（一般会計補正予算他、36件）

議案番号	議案名	内容
議2～6号	令和4年度一般会計補正予算（第9号）、各特別会計補正予算	P6～7に審議内容を掲載
議7号	令和5年度一般会計予算	P2～5に審議内容を掲載
議8～13号	令和5年度特別会計等予算	P2～5に審議内容を掲載
議14号	遊佐町個人情報保護法施行条例の設定について	個人情報保護法の改正に伴い現行の条例を廃止し、新たに施行条例を制定
議15号	遊佐町情報公開・個人情報保護審査会条例の設定について	情報公開・個人情報保護審査会の所管事務について新たに規定を整備
議16号	遊佐町議会の個人情報の保護に関する条例の設定について	議会の個人情報の保護に関する条例の制定
議17号	遊佐町企業版ふるさと納税基金の設置、管理及び処分に関する条例の設定について	新たに基金を設置し、その管理に関する条例を制定
議18号	遊佐町水防協議会条例を廃止する条例の設定について	月光川水害予防組合解散に伴い、条例を廃止
議19号	遊佐町における法令遵守の推進等に関する条例等の一部を改正する条例の設定について	法改正に伴い、関係する規定を整理
議20号	遊佐町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	不妊治療のための休暇を整備
議21号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	学校医等の報酬額を近隣市町と合わせるよう、規定を整理
議22号	遊佐町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	コンビニで印鑑証明書の交付ができるよう規定を整理
議23号	遊佐町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	指定管理候補者の選定準備に関する規定を整理
議24号	遊佐町体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	小学校統合に伴い空き校舎となる体育館・グラウンドの新たな維持管理を行うため規定を整理
議25号	遊佐町子どもセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	旧藤岡小学校に「子どもセンター分館」を設置するため規定を整理
議26号	遊佐町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例の制定について	法改正に伴い、関係する規定を整理
議27号	遊佐町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	児童福祉施設の設備及び運営における安全計画策定に関する規定を整備
議28号	遊佐町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	法改正に伴い、関係する規定を整理
議29号	遊佐町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営における安全計画策定に関する規定を整理
議30号	遊佐町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	出産育児一時金の支給額の見直し
議31号	遊佐町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関し必要な事項を定める条例の一部を改正する条例の制定について	事業所の指定に関する規定の一部を改正
議32号	遊佐町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	町営住宅入居に係る要件を緩和し、入居の円滑化を図るため規定を整理
議33号	鳥海ふれあいの里保養施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	「国民宿舎大平山荘」を「大平山荘」に改める
議34号	遊佐町過疎地域持続的発展計画の一部変更について	より有利な支援を受けるため及び政策を精査するために計画を一部変更
議35号	白井・金保辺地に係る公共的施設の総合整備計画の一部変更について	しらい自然館の空調設備更新などに辺地債を適用するために計画を一部変更
議36号	遊佐町固定資産評価審査委員会委員の選任について	任期満了に伴い佐藤克昭氏を再任
議37号	令和4年度遊佐町一般会計補正予算（第10号）	PayPay20%還元事業に1200万円増額
発議1号	議第7号 令和5年度遊佐町一般会計予算に対する付帯決議について	P12に審議内容を掲載

（傍聴者 のべ11人）

議会運営委員会行政視察

岩手県遠野市他 2月16日・17日

遊佐町議会が進める議会のデジタル化の一環として、議会の様子をケーブルテレビで配信している遠野市議会の状況を視察した。さらに行政と民間が提携してまちの中心づくりを進める紫波町「オガールプロジェクト」を視察した。

委員会 レポート (管外視察)

予算審査

補正予算審査

一般質問

議案内容・採決

行政視察

遊佐人

民話の里 遠野

遠野はカップパをはじめ、民話の里として知られている。北上高地の中西部に位置し、東は釜石市と上閉伊郡大槌町に、南は奥羽市と気仙郡住田町に、西は花巻市に、北は宮古市に接している。平成17年に遠野市と宮守村が合併し、現在の遠野市となった。

盛岡市から約70km、仙台市からは約180kmの距離に位置している。人口は2万5366人（令和2年国勢調査）、総面積は825.97km²で、その半分以上は山林が占めている。

ケーブルテレビで議会配信

遠野市は市の面積の多くが山林ということもあり、テレビの不感地帯の解消を目的に、以前からケーブルテレビの普及が進んでいた。このケーブルテレビを活かし、議会の様子をケーブルテレビで中継、再放送等で市民に広く伝えている。

議場に設置しているカメラを利用し、議会事務局の職員

が機器を操作して放送している。



遠野テレビで議会議中継（遠野テレビHPより）

電子機器の種類は自由

議場内への電子機器の持ち込みは、一定のルールはあるものの機種指定はなく、パソコン、タブレット、スマートフォンなど、議員個人の所有物を持ち込むこととしている。購入やネットへのアクセスに関する費用は一定の上限や制約ルールはあるものの、政務活動費からの支出が認められている。

操作方法は合同での研修はなく、各自で対応している。

視察をおえて

ケーブルテレビでの中継は、その視聴率などの調査は行っていないため、直接の効果は不明だが、再放送も含めかなり高い視聴数のようである。その背景からか、議員の活動・発言は多くの市民が常に見ているとの意識が高く、緊張感を持った議会活動が行われていると思われる。

インターネット配信に比べ、通常のテレビでの放映はコンピュータに疎い世代でも手軽に視聴でき、「開かれた

議会」としては有効なツールと思われる。しかし費用等を考えた場合、遊佐町議会では現実的でないことから、別の手法を検討することが妥当と思われる。

また、パソコンをはじめとした電子機器の使用は今後、よりスタンダードになっていくことを考えれば、使用のためにもルールを明確にすることはこれからも充実させなければならぬ。

同一機器を貸与して使用方法を研修していく形式から、議員個々自らの機器で、使用方法を学び工夫するように変わっていかねばならないと感じた。



令和5年2月16日(木)山形県遊佐町議会から7名の方々が行政視察にお越しになりました。
SNS・デジタル化による議会改革について、研修、質疑を行いました。



遠野市議会 Facebookより

●遠野市議会フェイスブックページへのリンク
<https://www.facebook.com/tonoshigikai>

シリーズ
遊佐人 13
Yuzajin

遊佐の宝
子どもたちを育む

遊佐保育園

子どもたちは遊佐の宝。今回からは、子どもたちを育む保育施設を訪ねます。初回は遊佐保育園（遊佐・八日町地内）。澤口恵園長にお話をうかがいました。

だれにでも
挨拶できる子どもたち

遊佐保育園には4年3月現在84名の園児たちが、遊佐・蕨岡・高瀬地区などから元気に通園しています。

子どもたちには、安心安全はもとより、体を動かすことと地域との交流を大事にしています。



サツマイモ掘り

晴れた日には、子どもセンターのある中央公園に出かけるのが楽しみ。また、秋には、旧園舎の時代からご厚意でお借りしている、三浦さんの畑でのサツマイモ掘りが大人気。掘り上げたイモは芋煮給食や、焼き芋にして美味しくいただいています。

園を訪れた方々にはみんな挨拶ができる子どもたちで、隣の遊佐高校生徒とも大のなかよしです。

踊りも好きな子どもたちなので、コロナ禍で中止していた、特別養護老人ホーム「ゆうすい」との交流を楽しみにしています。

「わくわく体験」
「笹巻づくり」

4年度には県の支援事業「わくわく体験」でブドウ狩りに挑戦。

りに挑戦。

酒田港の海洋センターで海のプラスチックごみの実態をまなび、プラごみでの万華鏡づくりも体験しました。次は親子で体験したいと計画しています。

地域の先生を招いて、笹巻にも挑戦。ハッチョウトンボの生息地も見学し、遊佐の奥深さを体感しています。



ブドウ狩りに挑戦



中学校北側すべり台もお気に入り

年長の「やま組」さんは
新1年生

年長である「やま組」さんになってからは、小さな子どもたちの面倒を見る気持ちも芽生えてきたと感じます。

大きくなった新小学校で、友達が増えることを楽しみにしています。なにせ人見知りしない子どもたちなので、小学校でも仲良く勉強できると思います。



ハッチョウトンボの里

新年度の人数は

5年度にはこれから生まれる子どもたちの予約を合わせて、73名を迎え入れる予定です。

町や議会に
要望はありませんか

入園児に応じた職員の配置にとっても感謝しています。開園してから23年たちますので、園舎が痛んできています。計画的な点検と修理で、園児が過ごしやすいよう配慮願います。



万華鏡づくり

議会を傍聴してみませんか 5月定例会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。
 5月定例会は、本会議と補正予算審査特別委員会が議場で行われます。
 一度傍聴してみませんか？

5月定例会の予定

- 5月29日(月) 本会議・一般質問
- 5月30日(火) 一般質問・常任委員会
- 5月31日(水) 補正予算審査特別委員会・本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

全町から 遊佐小学校に 表紙の写真

5小学校の統合を、この町の大人たちは、子どもたちを思って決めた。全町から集まってくる子どもたちを鳥海山も優しく見守っている。
 大人たちの心配をよそに、子どもたちは期待に胸を膨らませているようだ。



議会クイズ

116



令和5年2月1日159号の議会クイズには54名の方が応募があり、53名の方が正解でした。抽選の結果、次の10名の方が当選し、米くちやんスタンプカードをお買い物券1000円分をお届けします。

答え ①C ②C ③C

- (敬称略)
- 佐々木 悦子(遊佐)
 - 富樫 祐子(吹浦)
 - 後藤 喜八(遊佐)
 - 佐藤 八重子(稲川)
 - 石山 文子(稲川)
 - 石垣 晴男(吹浦)
 - 佐藤 誠子(高瀬)
 - 三浦 進(高瀬)
 - 富樫 睦子(高瀬)
 - 土門 ヒサ子(稲川)

問題

- ①遊佐保育園の「わくわく体験」で挑戦したのは。
- A イチゴ狩り
 - B ブドウ狩り
 - C リング狩り

- ②購入予定の公用車の種類は。
- A ダンプカー
 - B トラクター
 - C 電気自動車

- ③町内の一部で町が整備した通信ケーブルは。
- A 光ケーブル
 - B 海底ケーブル
 - C ケーブルカー

応募方法

ハガキに答えの記号(例① A ② B ③ C)住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。

正解者の中から10名様に米くちやんスタンプカードをお買い物券1000円分をお届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません。町広報に折込みのハガキは使えません。

★ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

★あて先/999-8301 遊佐町遊佐字舞鶴202 役場内 議会事務局 締め切り5月25日 発表は次号です。

編集室より

まづぎ(五月・皐月) はじまるのう

「まづぎ」とは庄内弁で田植えのことであることはよく知られている。鳥海山の残雪映す水面に、小躍りするように緑の苗が植えられていく。ビニールハウスなどで大事に育てられた苗がその生長を田んぼに移し、豊穣の秋に向け第一歩を踏み出す。

さて、同じく新学期を迎え力強く第一歩を踏み出した小学生・中学生・高校生…。ひと月弱を過ぎ、環境の変化や新しい生活にも慣れただろうか。それぞれの夢と希望を一杯に背負いゆっくりでも、確実に歩みを進めて欲しい。
 夢の実現には体力が要る。それは当然「遊佐米」が担う。まづぎのため、しばらくは風の無い穏やかな日が続くことを願うものだ。
 (佐藤 俊太郎)

発行人 議長 土門 治明
 議員 長 阿部 満吉
 副委員長 佐藤俊太郎
 委員長 齋藤弥志夫
 委員 齋藤 武
 委員 那須 正幸
 委員 本間 知広

議会広報常任委員会